

法人・事業所における虐待防止のための 具体的な取り組み (グループワークまとめ)

- ・相談を受ける立場として一人で判断・支援し、振り返る場がない。
- ・自分自身の気づきを持ち続けることが大切。
- ・職員への気づきをどう促すか。
→本人に指導の仕方を確認する（直接的に伝えた方が良いのか、言い方などの強弱）
- ・セルフチェック、セルフチェック後の振り返りをしっかり取る、分析する。
→外部を取り入れての評価が効果的
- ・職場の環境づくりが大切
- ・情報共有、整理が大切
- ・職員の育成をどうしていくのがいいのか
→組織としての認識を共有していく
- ・支援の質を高めるためには、個別支援計画を基本にした支援の徹底が大切
- ・チェックリストの活用

《指導者からのコメント》

- ・自分たちの事業所の中で、どういうところが虐待に当たるのか基準を作り、それに敏感に反応することが必要。
- ・セルフチェックも職員によっては自分の振り返りのためのチェックになるが、業務的にパパッとする職員もあり、一人ひとりによる。面談でどう活かすのかが大切。
- ・職員の認識の問題。どう職員集団を支援するかが大切。
- ・管理者は孤独なので、管理職同士で横のつながりを深めることも大切。
- ・この研修が、各職場で取り組みを進めるスタートになれば良い。